

平成28年度定期監査報告書（市立小中学校監
査実施分）に基づく改善策及び顛末

平成28年11月

糸島市

平成28年度定期監査報告書（市立小中学校監査実施分）に基づく改善策及び願末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p>第4 監査の結果</p> <p>1 各学校に共通する監査結果</p> <p>(1) 施設備品及び図書備品の管理状況</p> <p>平成27年度に購入された施設備品及び図書備品について、備品台帳との照合及び現品の確認を行った結果、おおむね良好に管理されていた。</p> <p>平成27年度に購入された備品データは、学校備品管理システムに各学校において入力完了しており、備品シールについても対象備品に貼付されていた。</p> <p>なお、備品台帳について、品目番号が未記入の学校があった。備品台帳においては、適正な管理上、当該物品を特定するための品目番号は必要である。今後、改善いただきたい。</p> <p>(2) 鍵の管理状況</p> <p>学校では校舎、体育館、プール、倉庫、収納庫などの多数の鍵を管理されている。鍵の管理は校長、副校長、教頭等によって行われており、校長室、職員室等において保管されている。使用中の鍵については、保管場所に札などを下げて使用者が分かるような方法がとられている。</p> <p>今回の監査では、次に掲げる諸点において、一部不適切な運用がみられた。</p> <p>ア 鍵の管理台帳において、個別の鍵を特定するための品番号が明記されていなかった。</p> <p>イ 鍵の管理台帳において、鍵作成等(新規作成、補充、廃止等)の経緯に関する明記がなかった。</p> <p>ウ マスターキーとスペアキーが同一の保管庫で管理されていたが、適正な管理体制としては、別管理とすることが好ましい。</p> <p>以上を踏まえ、鍵の管理に関しては、現在、当該管理台帳の様式が各学校独自で作成されているのが実情であるため、今後、教育委員会において、基準となる統一様式を作成のうえ、これに基づいて各学校に対する当該管理運用を指導する等の体制づくりが必要であると考え。</p> <p>学校の安全管理上、鍵は厳格な管理を行わなけ</p>	<p>引き続き適正管理に努めるよう9月15日開催の9月校長会において再度指導した。</p> <p>また、備品台帳及び備品シールについては、記載項目について統一化を図るため、10月6日開催の予算説明会において事務官に対して周知するとともに、適正に管理するよう指導した。</p> <p>なお、今回指摘された学校以外でも品目番号が未記入の事案が生じている可能性もあるため、全小中学校に再度確認し、未記入の事案等があれば補正するよう指導した。</p> <p>今回指摘のあった事項について、9月校長会において全校に通知した。鍵管理台帳の基準となる様式については、平成28年6月3日付事務連絡で提示した様式で統一化させる旨を全小中学校に通知し、独自で作成している学校は統一様式に移行するよう指導する。</p> <p>経年劣化による鍵折れ等の破損やスペアキーの作成による補充が各学校の判断で随時行われていることから、その都度鍵管理台帳への記載を行うよう指導する。</p> <p>保管庫の管理は、通常、学校の管理監督者又は管理監督者が指定する特別な職員のみが行っており、当然のことながら今日まで厳重な取り扱いをなされてきている。別の管理とした場合、保管庫の数量に見合う保管庫分の鍵の管理が新たに発生し、かえって煩雑となるため、現状どおりの運用で適正管理するよう指導する。</p> <p>定期的な点検、厳正な管理について、再度、周知徹底を図る。</p>

平成28年度定期監査報告書（市立小中学校監査実施分）に基づく改善策及び願末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p>ればならない。学校現場において多種類・多数、存在する鍵の管理に当たっては、適切な管理台帳を完備され、定期的な点検、厳正な管理を周知徹底していただきたい。</p> <p>（3）理科等薬品の管理状況</p> <p>理科系実験用薬品類の管理については、『糸島市立小中学校理科等薬品管理要綱』が平成25年4月1日から施行された。このことを踏まえ、本管理が当該要綱に則って適正に執行されているかどうかの視点により監査を行った結果、次に掲げる諸点において、一部不適切な運用がみられた。</p> <p>ア 毒物及び劇物について、当該要綱では理科薬品の性質に基づいて分類・保管するように指導がなされているにもかかわらず、一般の理科薬品と同一の保管庫で保管されていた。</p> <p>イ 管理台帳中、薬品一覧表及び理科薬品定期点検表が未作成であった。</p> <p>ウ 薬品容器に、「医薬用外毒物」及び「医薬用外劇物」が未表示であった。</p> <p>エ 酸とアルカリが収納戸棚等で別々に管理されていなかった。</p> <p>オ 事故等発生時の応急措置等の周知がなされていなかった。</p> <p>カ 地震等により転倒しないよう適切な措置が執られていなかった。</p> <p>キ 管理台帳は、新様式ではなく、旧様式を使用していた。</p> <p>ク 理科等薬品の廃液の処理について、複数の容器を同一の保管庫で保管されていた。</p> <p>なお、この取扱いに関しては、今後、教育委員会において適正な管理方法を検討のうえ、各学校に周知する必要があると考える。</p> <p>以上を踏まえ、今後は、当該要綱において定める管理方法を厳守され、定期点検、適正な在庫管理、廃棄薬品の適切な処理等、危険回避のための一層の管理を周知徹底していただきたい。</p> <p>（4）工事施工状況</p>	<p>9月校長会において『糸島市立小中学校理科等薬品管理要綱』を再度配布し、当該要綱に基づいた管理方法を遵守し、適正な管理を行うとともに、危険回避等に十分配慮するよう周知徹底を図った。</p> <p>また、今回指摘された事項等を例示し、早急に管理方法を再確認するよう併せて指導した。</p> <p>なお、理科等薬品の廃液の処理については、現行の『糸島市立小中学校理科等薬品管理要綱』では具体的な管理方法を明示していないため、早急に見直しを行い、全小中学校に周知する。</p>

平成28年度定期監査報告書（市立小中学校監査実施分）に基づく改善策及び願末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p>各学校の平成27年度に実施された工事について、工事箇所の現場確認を行った結果、学校定期監査を実施した平成28年6月24日時点において、既に施工対象物が破損している事例があった。学校施設等の工事施工に当たっては、施工手法及び内容について、事前に充分考慮、検討いただきたい。</p> <p>なお、事前に工事事績書類一式の提出を求め、契約書及び完了調書等の検査を書類で実施した上で、現場確認が不要と思われるものは除いた。</p> <p>学校現場からの施設改善要望は多岐にわたっているが、今後も、児童・生徒の安全を最優先に、施設改善に計画的に取り組んでいただきたい。</p> <p>（５）就学援助費関係</p> <p>平成28年度の定期監査においては、就学援助費の適正な財務運用を監査対象項目として設定した。</p> <p>就学援助費は、糸島市立小中学校児童生徒就学援助規則（平成22年糸島市教育委員会規則第19号）に基づいて、学校教育法(昭和22年法律第26号)第19条の規定に基づき糸島市立小中学校等に在学する児童生徒のうち、経済的理由によって、就学困難な児童生徒に対し、必要な援助を与え、義務教育の円滑な実施を図ることを目的とする制度である。</p> <p>今回の監査では、学校長の口座に入金された就学援助費の適正な財務運用が執行されているかを視点に監査の行った結果、一部、当該入金分に対する収納消込処理日が遅れている事例があった。このため、今後は速やかな収納業務を行っていただきたい。</p> <p>（６）機械警備による安全管理状況</p> <p>機械警備については、セット忘れ、セット操作ミス、窓等の無施錠、侵入者発報等が散見された。</p> <p>とりわけ、セット忘れについては、本年度監査を実施した全6校において発生しており、犯罪者が学校内に侵入しても発報がなされず、全く無防</p>	<p>指摘箇所は、普通車両の進入を想定していなかったため軽車両用で施工していたが、学校体育施設開放時に普通車両が進入したため破損したものである。今後の施工においては、あらゆる可能性や防護措置等を考慮し、同様の事象が発生しないよう工事内容を検討する。</p> <p>今後も、施設改善については児童・生徒の安全を最優先に、実施計画、予算要求を行い、早期改善に努めたい。</p> <p>就学援助費に限らず、学校で取り扱う校納金等も含めて適正な運用を図るよう9月校長会において再度周知徹底を図った。</p> <p>また、事務処理に遺漏や事故が生じないよう複数で確認する体制の構築を指示した。</p> <p>指摘の原因については、学校によるもの、社会体育団体等によるものに分けられる。</p> <p>については、9月校長会において再発防止を指示した。</p> <p>については、生涯学習課を通じ、校区公民館、</p>

平成28年度定期監査報告書（市立小中学校監査実施分）に基づく改善策及び願末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p>備な状態となるため、極めて危険である。</p> <p>今後は、十分な注意を払い、「安心・安全の学校づくり」の確立に努めていただきたい。</p> <p>(7) 個人情報保護</p> <p>児童生徒の個人情報は、個人情報セキュリティ対策基準などを作成され、学校外に持ち出さないよう教職員に徹底されている。しかしながら、教職員は、学校内で仕事を完了するよう指導されているものの、やむを得ず学校長の許可を得たうえで、児童生徒の個人情報を学校外に持ち出される場合がある。</p> <p>個人情報の漏えいは、児童生徒等に大きな被害を及ぼすおそれもあるため、やむを得ず個人情報を持ち出す際は、今後なお一層管理を厳格にするよう周知徹底していただきたい。</p> <p>(8) 学校の安全確保</p> <p>糸島市立小中学校管理規則第16条及び第38条により、非常変災等の対策として、行動計画及び消防計画を作成することを規定している。</p> <p>各学校では行動計画や消防計画は作成されており、その行動計画等に基づき所属職員、糸島市消防本部等とが一体となって、地震・津波避難訓練や火災避難訓練等が実施されているが、今後とも児童生徒の安全性を確保するための取組みを更に徹底していただきたい。</p> <p>行動計画及び消防計画等の職員や児童生徒への周知については、職員会議や研修会及び避難訓練により図られている。</p> <p>非常時の災害を最小限に食い止めるよう、今後も定期的に訓練を実施していただきたい。また、社会情勢や学校環境の変化に対応するため、適宜、行動計画の見直しを図り、教職員の的確な初動体制と初期活動に繋がるよう徹底していただきたい。</p> <p>(9) その他庶務関係</p>	<p>利用団体に対し指導を行うよう依頼した。</p> <p>個人情報の保護については、情報が漏えいした際の問題の重大性を再認識させるために、校内情報管理マニュアルの職員への周知徹底を図るとともに、引き続き適正管理に努めるよう9月校長会において指導した。</p> <p>なお、個人情報を持ち出すことのリスクとして、電子媒体の紛失や自宅パソコンからの情報漏えい等が考えられるため、極力個人情報を持ち出すことがないように校内体制の構築を図るよう指導する。また、やむを得ず個人情報を持ち出す際は、自宅パソコンのセキュリティ対策や紛失防止策を確認するなど管理体制の厳格化を図るよう指導する。</p> <p>7月から12月にかけて全小中学校で実施している公簿点検時に危機管理マニュアルの内容を確認するとともに、児童生徒の安全性を確保するための取組の徹底や社会情勢や学校環境の変化に対応するため、行動計画の見直しを図るよう指導した。</p> <p>なお、非常時の災害を最小限に食い止めるには、定期的な訓練を実施することが重要であるため、今後も引き続き火災、地震、大雨等の自然災害に加えて、不審者の侵入などの人的災害に関する避難訓練を実施するよう指導する。</p>

平成28年度定期監査報告書（市立小中学校監査実施分）に基づく改善策及び願末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p>出勤簿、休暇カード、私有車両の公用使用関係書類、水質検査関係書類、消防関係書類等の各種庶務台帳類を監査した結果、幾多の誤謬処理が見された。</p> <p>これらの台帳類は、適正かつ円滑な学校運営を行うための基本となる帳票等である。</p> <p>今後は、適切に庶務業務を執行していただきたい。</p> <p>2 まとめ</p> <p>以上、各学校ごとの監査結果を踏まえ、主要な監査項目について本定期監査を総括すると、次のとおりである。</p> <p>施設備品及び図書備品については、備品台帳との照合及び現品の確認を行った結果、管理体制はおおむね良好であった。</p> <p>鍵の管理については、多種・多数の鍵を厳正に管理するためには、適正な管理台帳を完備のうえ定期的な点検を行い、鍵の厳格な管理を徹底していただきたい。</p> <p>理科等薬品類の管理については、平成25年4月1日から施行された『糸島市立小中学校理科等薬品管理要綱』に沿った管理を徹底していただきたい。</p> <p>工事施工については、今後も児童・生徒の安全を最優先に、施設改善に計画的に取り組んでいただきたい。</p> <p>就学援助費関係業務については、今後も速やかな収納業務を行う等、適切な財務運用を執行していただきたい。</p> <p>機械警備による安全管理については、セット忘れが本年度監査を実施した全6校において発生していたため、今後は、十分な注意を払い、「安心・安全の学校づくり」の確立に努めていただきたい。</p> <p>個人情報保護については、今後なお一層管理を厳格にするよう徹底していただきたい。</p> <p>火災・地震等の非常変災時の対応については、各学校とも行動計画等を作成し、これに基づき訓</p>	<p>台帳類は適正かつ円滑な学校運営を行うための基本となる帳票であり、適切に庶務業務を執行するよう公簿点検時に内容を確認するとともに、不適切と思われる箇所について指導した。</p> <p>今回の指摘事項等については、監査対象外の学校においても同様の取扱いを行っている可能性があるため、9月校長会や事務官の会議において周知徹底を図り、今後とも安全かつ円滑な学校運営に努めるよう指示した。</p> <p>なお、当該指摘があった学校については、速やかに個別に指摘された事項の改善を図るよう指導した。</p>

平成28年度定期監査報告書（市立小中学校監査実施分）に基づく改善策及び願末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p>練等が実施されている。今後も避難訓練を定期的 に実施され、いつ発生するか分からない非常災害 に備えていただきたい。</p> <p>庶務関係については、適正かつ円滑な学校運営 を行うための基本となる業務のため、今後も適切 に庶務業務を執行していただきたい。</p> <p>以上のとおり、平成28年度定期監査結果の概要 について記述したが、それぞれの指摘事項を念頭 におかれ、今後とも安全かつ円滑な学校運営に努 められるよう望むものである。</p>	

平成28年度定期監査報告書（市立小中学校監査実施分）に基づく改善策及び願末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p>(別紙 - 1) 各監査項目ごとの学校別・指摘事項等</p> <p>1 施設備品及び図書備品の管理状況</p> <p>波多江小学校 備品台帳において、品目番号が未記入であった。</p> <p>2 鍵の管理状況</p> <p>波多江小学校 鍵の管理台帳において、個別の鍵を特定するための品番号が明記されていなかった。</p> <p>前原小学校 鍵の管理台帳において、個別の鍵を特定するための品番号が明記されていなかった。</p> <p>怡土小学校 鍵の管理台帳において、鍵作成等（新規作成、補充、廃止等）の経緯に関する明記がなかった。</p> <p>前原東中学校 マスターキーとスペアキーが同一の保管庫で管理されていた。適正な管理体制としては、別管理とすることが好ましいと考える。</p> <p>3 理科等薬品の管理状況</p> <p>東風小学校 毒物及び劇物について、一般の理科薬品と同一の保管庫で保管されていた。</p> <p>理科薬品の管理に当たっては、学校教育課が策定した『糸島市立小中学校理科等薬品管理要綱』において、その性質に基づいて分類・保管するように指導がなされている。</p> <p>毒物及び劇物は、その危険度等を考慮し、一般の理科薬品とは別の保管庫で管理する方がより適切である。</p> <p>波多江小学校</p>	<p>品目番号の記入漏れをなくすよう指導した。</p> <p>個別品番号を台帳に記載するよう指示した。</p> <p>個別品番号を台帳に記載するよう指示した。</p> <p>統一様式に移行させ、鍵作成経緯を明記するよう指示した。</p> <p>別の管理とした場合、保管庫の数量に見合う保管庫分の鍵の管理が新たに発生し、かえって煩雑となるため、現状どおりの運用で適正管理するよう指導する。</p> <p>『糸島市立小中学校理科等薬品管理要綱』に基づいた管理を行うよう指導した。</p>

平成28年度定期監査報告書（市立小中学校監査実施分）に基づく改善策及び顛末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p>1 管理台帳中、薬品一覧表及び理科薬品定期点検表が未作成であった。</p> <p>2 薬品容器に、「医薬用外毒物」及び「医薬用外劇物」が未表示であった。</p> <p>3 酸とアルカリが収納戸棚等で別々に管理されていなかった。</p> <p>4 事故等発生時の応急措置等の周知がなされていなかった。</p>	<p>管理台帳の再点検を行うとともに、薬品一覧表及び理科薬品定期点検表を早急に作成するよう依頼した。併せて事故等発生時の応急措置等の周知を含めて『糸島市立小中学校理科等薬品管理要綱』に基づいた管理を行うよう指導した。</p> <p>また、「医薬用外毒物」及び「医薬用外劇物」の表示及び酸とアルカリを区分して収納戸棚等で保管するよう指示した。</p>
<p>前原小学校</p> <p>1 薬品容器に、「医薬用外毒物」及び「医薬用外劇物」が未表示であった。</p> <p>2 事故等発生時の応急措置等の周知がなされていなかった。</p>	<p>早急に「医薬用外毒物」及び「医薬用外劇物」を表示するとともに、事故等発生時の応急措置等の周知を含めて『糸島市立小中学校理科等薬品管理要綱』に基づいた管理を行うよう指導した。</p>
<p>前原中学校</p> <p>理科等薬品の廃液の処理について、複数の容器を同一の保管庫で保管されていた。</p> <p>この取扱いに関しては、今後、学校教育課において適正な管理方法を検討のうえ、各学校に周知する必要がある。</p>	<p>『糸島市立小中学校理科等薬品管理要綱』に当該取扱い方法を明示し、全小中学校に通知する。</p>
<p>怡土小学校</p> <p>1 管理台帳は、新様式ではなく、旧様式を使用していた。</p> <p>2 地震等により転倒しないよう適切な措置が執られていなかった。</p> <p>3 理科等薬品（酸及びアルカリ）の廃液の処理について、複数の容器を同一の保管庫で保管されていた。</p> <p>この取扱いに関しては、今後、学校教育課において適正な管理方法を検討のうえ、各学校に周知する必要がある。</p>	<p>管理台帳を新様式に変更するよう指示するとともに早急に転倒防止策を施すよう指示した。</p> <p>なお、廃液の処理については、『糸島市立小中学校理科等薬品管理要綱』に当該取扱い方法を明示し、速やかに全小中学校に通知する。</p>
<p>前原東中学校</p> <p>1 薬品容器に、「医薬用外毒物」及び「医薬用外劇物」が未表示であった。</p> <p>2 事故等発生時の応急措置等の周知がなされていなかった。</p>	<p>早急に「医薬用外毒物」及び「医薬用外劇物」を表示するとともに、事故等発生時の応急措置等の周知を含めて『糸島市立小中学校理科等薬品管理要綱』に基づいた管理を行うよう指導した。</p>

平成28年度定期監査報告書（市立小中学校監査実施分）に基づく改善策及び顛末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p>4 工事施工状況 前原東中学校 自転車場側溝設置工事について、平成27年度において当該工事を施工しているが（竣工検査日：平成28年3月16日）、学校定期監査を実施した平成28年6月24日時点のわずか約3か月後において、側溝の蓋が既に破損していた。 破損の原因は、恐らく自動車の通行によるもの等が推察されるが、それであれば、当初の工事計画の段階で、蓋の厚さをその荷重負担に十分耐え得るだけの幅にする等の配慮が必要であったと思われる。 今後、学校施設等の工事施工に当たっては、周辺環境等を勘案した施工内容について、事前に十分考慮、検討いただきたい。</p>	<p>指摘箇所は、普通車両の進入を想定していなかったため軽車両で施工していたが、学校体育施設開放時に普通車両が進入したため破損したものである。今後の施工においては、あらゆる可能性や防護措置等を考慮し、同様の事象が発生しないよう工事内容を検討する。 今後も、施設改善については児童・生徒の安全を最優先に、実施計画、予算要求を行い、早期改善に努めたい。</p>
<p>5 就学援助費関係 怡土小学校 糸島市会計管理者から学校長の口座に平成27年12月17日付けで入金されたケースにおいて、その収納消込処理日は平成28年2月2日であった。 今後は速やかな収納業務を行っていただきたい。</p>	<p>迅速かつ適正な処理を行うよう指示した。 併せて、校内でのチェック機能の強化を図るよう指導した。</p>
<p>6 上記以外の項目（庶務関係、他） 東風小学校 1 機械警備において、異常発報が多数あった。中でもセット忘れ及びセット操作ミスが数件あった。 2 消防点検に関し、防火管理者届等の3種類の書類について、消防本部への提出が遅れていた。 3 出勤簿において、勤務時間数の累計日数の計算誤りがあった。</p>	<p>指摘の原因については、学校によるもの、社会体育団体等によるものに分けられる。 については、9月校長会において再発防止を指示した。 については、生涯学習課を通じ、校区公民館、利用団体に対し指導を行うよう依頼した。 再度確認し、適切に庶務業務を執行するよう指導する。 再度確認し、適切に庶務業務を執行するよう指導する。</p>

平成28年度定期監査報告書（市立小中学校監査実施分）に基づく改善策及び願末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p>波多江小学校</p> <p>1 機械警備において、異常発報が多数あった。中でもセット忘れが8件（体育館、給食室、PTA室）、セット操作ミスが5件、窓無施錠が3件、侵入者発報（プール2件、体育館1件）があった。</p> <p>2 出勤簿において、押印数と日数計算の相違があった。また、休暇の取得時間について、休暇カードと出勤簿に相違があった。</p> <p>3 私有車両の公用使用届出書について、所管課長の承認済の写しを学校で保管していなかった。</p>	<p>指摘の原因については、学校によるもの、社会体育団体等によるものに分けられる。</p> <p>については、9月校長会において再発防止を指示した。</p> <p>については、生涯学習課を通じ、校区公民館、利用団体に対し指導を行うよう依頼した。</p> <p>再度確認し、適切に庶務業務を執行するよう指導する。</p> <p>再度確認し、適切に庶務業務を執行するよう指導する。</p>
<p>前原小学校</p> <p>1 機械警備において、セット忘れが4件（体育館等）、窓無施錠が2件（職員室等）あった。</p> <p>2 給食調理員の出勤簿において、年休取得時の対象時間（日数）の未記入があった。また、休暇カードに累計時間数（日数）の未記入があった。</p> <p>3 私有車両の公用使用届出書について、所管課長の承認済の写しを学校で保管していなかった。</p>	<p>指摘の原因については、学校によるもの、社会体育団体等によるものに分けられる。</p> <p>については、9月校長会において再発防止を指示した。</p> <p>については、生涯学習課を通じ、校区公民館、利用団体に対し指導を行うよう依頼した。</p> <p>再度確認し、適切に庶務業務を執行するよう指導する。</p> <p>再度確認し、適切に庶務業務を執行するよう指導する。</p>
<p>前原中学校</p> <p>1 機械警備において、セット忘れが26件（体育館9件、武道場17件）、扉、窓等の無施錠が9件（昇降口、事務室出入り口等）あった。</p>	<p>指摘の原因については、学校によるもの、社会体育団体等によるものに分けられる。</p> <p>については、9月校長会において再発防止を指示した。</p> <p>については、生涯学習課を通じ、校区公民館、利用団体に対し指導を行うよう依頼した。</p>

平成28年度定期監査報告書（市立小中学校監査実施分）に基づく改善策及び顛末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p>怡土小学校</p> <p>1 機械警備において、セット忘れが3件（給食室、ふれあい教室、体育館）あった。</p> <p>2 出勤簿の休暇時間数の算定に、計算誤りがあった。</p> <p>3 私有車両の公用使用届出書について、所管課長の承認済の写しを学校で保管していなかった。</p>	<p>指摘の原因については、学校によるもの、社会体育団体等によるものに分けられる。</p> <p>については、9月校長会において再発防止を指示した。</p> <p>については、生涯学習課を通じ、校区公民館、利用団体に対し指導を行うよう依頼した。</p> <p>再度確認し、適切に庶務業務を執行するよう指導する。</p> <p>再度確認し、適切に庶務業務を執行するよう指導する。</p>
<p>前原東中学校</p> <p>1 機械警備において、セット忘れが29件（体育館11件、武道場12件、その他6件）、無施錠が9件（武道場等）あった。</p> <p>2 水質検査について、10月末までプールを使用されていたにもかかわらず、10月分の検査が未実施であった。</p> <p>3 休暇カードの累計日数の算定に、計算誤りがあった。</p> <p>4 私有車両の公用使用届出書について、所管課長の承認済の写しを学校で保管していなかった。</p>	<p>指摘の原因については、学校によるもの、社会体育団体等によるものに分けられる。</p> <p>については、9月校長会において再発防止を指示した。</p> <p>については、生涯学習課を通じ、校区公民館、利用団体に対し指導を行うよう依頼した。</p> <p>再度確認し、適切に庶務業務を執行するよう指導する。</p> <p>再度確認し、適切に庶務業務を執行するよう指導する。</p> <p>再度確認し、適切に庶務業務を執行するよう指導する。</p>